



一人ひとりの声に寄り添う

建設公安常任委員会/小泉勝の質疑から

企業局

小泉 水力発電所、太陽光発電所の大規模改修の状況と、今後予定されているFIT制度見直しの影響について伺う。

**答弁
施設課長** FIT制度（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）を活用し、3か所の改修を予定している。来年度以降、企業局が保有する水力発電所の大規模改修にFIT制度は活用できなくなるが、適切な維持管理と計画的な投資により電力の安定供給に努める。

小泉 県内二級水系の河川について、ダム の事前放流に関する協定が締結されたが、発電ダムの事前放流の対応状況、損失補填、河川管理者との調整について伺う。

**答弁
施設課長** 企業局が関係するダムは協定の締結が完了。損失補填の具体的な算定方式が国から示されていないことが課題。土木部とは、治水協定締結後も、水系ごとに実際の運用について意見交換を行っており、今後も関係者との情報交換に努める。

土木部

小泉 健康立県を進めるうえで、歩きたくなる街づくりに取り組む市町村へ積極的に支援するべき。

**答弁
都市整備課長** 県では賑わい空間創出支援モデル事業を創設し、これまで13地区で実施。この事業を活用し、魅力あるまちづくりを支援していく。

小泉 見附下新町線の整備状況について伺うとともに、地元地域住民が期待している瑞祥橋架け替え工事について遅れないように進めていただきたい。

**答弁
都市整備課長** 学校町から新町の延長約960mについては、本年度新規事業として着手する。瑞祥橋架け替え工事については、今年度中、令和4年3月までの供用を目指し予定通り進めている。



公安委員会

小泉 不法投棄事案が増加しているようだ。最初の不法投棄をまずは未然に防ぐこと、そして同じ場所での再犯を防止することが重要であり、県警察として、取り締まりパトロールを強化していただきたい。



小泉 生活道路、通学路での痛ましい交通事故が抑制されるためにも、可搬式オービス試験設置結果を客観的、科学的に分析して、可搬式オービス導入に向けた議論の再開を期待している。

●小泉勝「県政レポート」は見附市内に新聞折込などでお届けしています。ご近所、お知り合いでご覧になっていない方がおられましたら、お届けいたしますので小泉事務所にお知らせください。

一人ひとりの声に寄り添う
新潟県議会議員

小泉勝

TEL:0258-62-1265 FAX:0258-62-7078 Eメール:kongetukoyoi@yahoo.co.jp 〒954-0046 新潟県見附市双葉町2-4 小泉勝事務所

7月5日、令和3年新潟県議会6月定例会が閉会しました。新型コロナウイルス対応関連予算など149億8400万円が補正計上され可決されました。また、総務省へ戻る米沢朋通副知事の後任となる、同じく総務省出身の橋本憲次郎氏の副知事人事案についても同意されました。

全国各地で豪雨に見舞われ、静岡県熱海市では大規模な土石流が発生しました。被災されました方々には、心よりお見舞い申し上げます。そして「第5波」ともいわれている新型コロナウイルスの感染再拡大が首都圏を中心に急激に進んでいる中、オリンピック・パラリンピック開催を迎えました。生活での不安や、お困りことも多いものと思います。お一人おひとりに寄り添い、耳を傾け、手を差し伸べられる、そんな行政・政治を目指し全力で活動を続けてまいります。

厳しい猛暑日が続きますが、どうぞ皆様にはお身体ご自愛ください。

小泉 勝の新たな所属委員会

- 厚生環境常任委員会
- 県民所得アップ対策特別委員会

- 本会議において討論となった[正副委員長について]リベラル新潟の考え方 -

リベラル新潟は、委員長、副委員長ポストを勲章と捉えているわけではなく、議会活動においては、各議員、各党会派の担うべき責務であると考えています。こうした考えから、役職・人数配分については、党会派議員数による占有率を計算し、その数に応じた案分を基本とすべきであり、公平な役割分担により県民本位の委員会運営となることが期待されると、これまで一貫して主張を行ってまいりましたが、残念ながら今回もその主張は受け入れられませんでした。

小泉勝の質問から『食品ロス削減に向けた県の取組』について



令和2年6月定例会 本会議 一般質問 (R2.6/19)
参加する環境づくりを

【質問】

食品ロス対策として、フードバンク、フードドライブ、子ども食堂などの生活困窮者への食品を寄附する取組があるが、より多くの県民や事業者がこの取組を認知、参加するような環境づくりを積極的に取り組むべき。

【福祉保健部長】

令和2年4月、新潟県フードバンク連絡協議会が発足したと承知している。協議会との情報交換などによってニーズを把握しながら、フードバンク等の意義や活動の紹介、現在行っているフードドライブへの協力の拡大など、食品を寄附する取組への支援を積極的に行っていく。

令和2年6月定例会 本会議 一般質問 (R2.6/19)
消費者・事業者双方の協力を

【質問】

先進国では毎年多くの食料が生産され、食品ロスという深刻な問題が起きている。削減には消費者・事業者双方の協力が必要。法律には、都道府県、市町村は、基本方針を踏まえ、食品ロス削減推進計画を策定すると努力規定が盛り込まれたところであるが、計画策定はどうか。

【知事】

取組を一層進めるためには、賞味期限の見直しや納品期限の緩和など、食品関連事業者をはじめとするサプライチェーン全体で取り組む課題もあると認識している。今後は、国の施策や他県の動向なども注視しながら、計画策定を検討していく。

令和3年2月定例会 本会議 代表質問 (R3.2/26)
事業者との協力が必要！

【質問】

「残さず食べよう！にいがた県民運動」への協力店舗は233店舗であるが、「とやま食ロスゼロ作戦」の協力事業者数は621件と大きな差がある。本県の推進強化が必要だが、6月議会で「検討していきたい」と答弁していた食品ロス削減推進計画の策定も含め、今後の方針は？

【知事】

来年度、推進協議会を設置、食品関係団体などの意見を聴きながら計画を策定、フードバンク活動への支援を行うなど、食品ロス削減の取組を強化していく。

今後は、令和3年度中に素案の作成、パブリックコメントを経て、令和4年3月頃を目標に『新潟県食品ロス削減推進計画』を策定していきます。

「新潟県食品ロス削減推進協議会」を設置
 令和3年6月14日 第1回協議会が開催されました。

《 フォトダイアリー 》 令和3年4月～7月

4/7 リベラル新潟 研修会 (田口塾)	4/16 連合委員会に おける東電の答弁 漏れに対する記者会見	4/17 見附市立病院内覧会	4/18 見附市民マラソン オープニング	4/28 財政担当による 補正予算の説明	4/28 大河津分水路 改修工事現地視察	4/30 メーデー見附地区大会	5/3 見附市成人式	5/10 刈谷田川堤防管理 道路路面現地調査	5/12 新潟県高等学校 定時制通信制教育 振興会評議員会
5/30 佐渡金銀山 世界遺産登録 推進県民会議	6/28 イスラム墓地に ついて打合せ	7/5 6月定例会後の 知事挨拶	7/9 刈谷田川堤防 雑草現地調査	熱田町市道横断歩道 ひし形マーク設置					

新潟県議会インターネット中継

※録画中継は、その会議の会議録がホームページで公開されるまでの配信です。

一般質問 ▶

会議録の検索と閲覧 ▶